



2002年09月09日

フォルクスワーゲン、国連の「グローバル コンパクト」イニシアチブの支援を表明 フォルクスワーゲンは「持続可能な開発」に向けた決意を示す

「World Summit on Sustainable Development (WSSD: 持続可能な開発に関する世界サミット)」が、南アフリカのヨハネスブルグで、2002年8月26日から9月4日まで開催されました。フォルクスワーゲンは、10年前にリオデジャネイロで開催された世界環境会議と同様、ヨハネスブルグの会議にも出席しています。

2002 WSSDにおけるフォルクスワーゲンのハイライトは、コフィー アナン国連事務総長が召集した「グローバル コンパクト」イニシアチブのメンバーとして受け入れられたことです。さらに、フォルクスワーゲンAG取締役のDr.ペーター ハーツは、グローバル コンパクト プログラム オフィサー及び、国連環境計画 (UNEP) 事務局長が見守る中、フォルクスワーゲンが、「グローバル コンパクト」イニシアチブの目標と課題へのサポートを行なう事を強調しました。

「グローバル コンパクト」イニシアチブは、1999年の国連事務総長の提唱に始まりました。その目的は、国際的な企業に対して、「持続可能な開発」という精神の下、エコロジカルで社会的に受け入れられるグローバルイニシアチブを推進するというものです。フォルクスワーゲンは、この「グローバル コンパクト」に参加する事により、これらの原則と国連のビジョンである、世界平和と持続可能な開発をサポートする事を表明しています。これはフォルクスワーゲンの企業文化の目標でもあり、その活動は様々なプロジェクトとイニシアチブにより実証されています。

Dr.ペーター ハーツは、フォルクスワーゲンの決意を次のように述べています。「持続可能な開発のための戦略的連携とは、とりわけフォルクスワーゲンにとっては学習する能力と、それに向けた心構えが出来ていることを意味しています。これまでに自らが行ってきた活動を厳しく振り返ることができる者だけが、新たな改革の可能性の門戸を開く事ができます。しかし、このような精神的アプローチがなければ、「ブリージング カンパニー(呼吸している会社)」が繁栄する事は不可能です。労働時間の「通知預金証明書」や「社会憲章」、さらには「1リッターカー」でさえ意味のないものになってしまいます。」

フォルクスワーゲンは、フォルクスワーゲン グループの世界労働評議会代表のクラウス フォルカートを企業の代表として、ヨハネスブルグに派遣しました。

「グローバル コンパクト」参加式典の他に、期間中のもう1つの重要なイベントが、フォルクスワーゲンのカンファレンスセンターで実施されたフォルクスワーゲンの技術展示です。このオープニング式典では、フォルクスワーゲン公認の全権代表であり、ガバメント リレーションズの責任者を務めるラインホルド コップが開会を宣言しました。この展示会にはルポ3L TDIとアウディア2 TDIの「3リッターカー」に加え、ポアHY.POWER用燃料電池ユニットと、さらには一番のハイライトである、世界で唯一1リットルの燃料で100キロ走行する事が可能な「1リッターカー」など、将来を見据えたクルマが展示されました。最新の革新技术によるこれらモデルは、「軽量化構造」と「燃料戦略」によって完全なものになります。

WSSDにおけるフォルクスワーゲンのプログラムは、フォルクスワーゲンが今年も後援している国際環境映画祭「ecomove」および、「An Hour for the Future(未来のための一時間)」というプロジェクト コンセプトを演奏するバンド「Menino」の登場によってクライマックスを迎えました。フォルクスワーゲンの従業員によって実現したこのプロジェクトは、フォルクスワーゲンが存在する各地域での「ストリート チルドレン」の長期支援のために活用されます。

リオデジャネイロで1992年に開催された国連環境開発会議から10年、フォルクスワーゲンも独自の「持続可能な開発」の詳細を立案することができました。この分野における重要なマイルストーンは、100 km走行するのに3リットル足らずの燃料しか消費しない最初の量産車、ルポ3L TDIやアウディア2 TDIなどの技術革新だけでなく、「Declaration on Social Rights and Industrial Relations(社会的権利と労使関係における宣言)」、フォルクスワーゲン グループの世界労働評議会の設立、フォルクスワーゲンの事業所がある世界各地における社会的責任の受け入れも含まれています。従って、このサミットへの参加は、フォルクスワーゲンにとっては持続性に対する決意の具体例を示す場だけではなく、政治、社会、および様々な学会や協会の代表者との対話を促進し、継続可能な経済活動の方針における、明確でなおかつ容易に理解できる事を証明する機会にもなりました。このような活動は、フォルクスワーゲンがウイテンハーグで雇用主として多くの従業員を擁する南アフリカ地域に限定したのではなく、フォルクスワーゲンの事業所が存在する世界40ヶ所を超える地域でも進められます。

ヨハネスブルグにおける「持続可能な開発に関する世界サミット」およびフォルクスワーゲンの活動に関する最新情報は<http://www.vw-in-johannesburg.com/>で閲覧できます。関連の写真画像はwww.volkswagen-presse.deから入手可能です。ユーザーID「Global」とパスワード「Compact」を入力してください。アクセスは2002年9月21日まで可能です。また、日本のフォルクスワーゲン インターネット ホームページ <http://www.vwj.co.jp/press>内のプレスサイトからダウンロードし

てご利用頂けます。